

クリニカルパス通信



「クリニカルパス」

日本クリニカルパス学会によると「患者状態と診療行為の目標、および評価・記録を含む標準診療計画であり、標準からの偏位を分析することで医療の質を改善する手法」と定義されています。

<パス用語>

「バリエンス」

相違、不一致、分散の意味。

アウトカムが達成できない状態の事。

正のバリエンス 負のバリエンスとあり、バリエンスを分析することは医療のアウトカムとプロセスを見直すことにつながり、よりよい医療・ケアを導くことが可能となります。



パス委員会 パス通信班より

今年度のパス通信も 4 回目の発行となりました。皆様に興味をもって読んでいただけるように、いろいろな角度からクリニカルパスについて発信をしてきました。次年度もよろしくお祈りいたします。

クリニカルパスに関するアンケート

皆さんが日頃使用しているクリニカルパスについてご意見をいただきました。

<良かった点>

- ・オーダーを入力する業務を省略できる
- ・記録が簡単である
- ・指示がわかりやすい
- ・パスは上手に使用すればとても便利で仕事がしやすい

<困っている点>

- ・アウトカムが良くわからない
 - ・バリエンスが生じた際に記録をどうしたらいいかわからない
 - ・パスの中身が終了した後アウトカムの評価はどのようにしたらいいのか
 - ・パスが逸脱しても中止にしていないことがある
 - ・オーダーで不要なものがあったり必要なものがなかったりする
 - ・疾患に合っていないのに無理やりパスを使用している
 - ・パスの日程で退院していなくても期間の延長をせずオーダーのみで動いている
 - ・評価時の状況 未達成/到達/条件付き達成/未評価の評価基準を知りたい
 - ・パス作成に時間がかかる
- 標準的なものがありそこに追加するなどであればよい

みなさまのご意見をもとに少しずつ改善をしていきたいと思っております。

ありがとうございました。



目指せ、
パス適用率
45%!

現在運用中のパスは 301 個

外科・呼吸器外科	142
整形外科	79
看護部	17
形成外科	15
小児科	23
眼科	9
婦人科	6
泌尿器科	4
内科	2
脳神経外科	2
循環器内科	1
耳鼻咽喉科	1

新パス紹介(10~12月承認分)

- ヘルニア修復術 (鼠径ヘルニア)
- ヘルニア整復術 (鼠径ヘルニア以外)
- 胃 ESD
- CV ポート抜去 (当日入院)
- デンバーシャント造設術 (前日入院)

【上記 5 個すべて 外科・呼吸器外科】

2022 年 4 月からの
全体適用率
38.7%

【2022 年 10~12 月パス適用率】

